催し

第3回　高校生のための「大学」セミナー

このセミナーは、参加者に「大学」とは人生の中で何かを、原則2泊3日の体験をとおしてじっくり考えてもらうためのセミナーです。

○対象　高校生（保護者・教員・大学生・予備校生等も可）
○期日　8月22日（月）～24日（水）（2泊3日）
○会場　独立行政法人　国民生活センター（相模原市弥栄3－1－1）
○内容　大学・高校教職員、社会人、大学生による講演、ワークショップ、模擬授業、パネルディスカッション、討論等
○定員　宿泊70人、通い（3日間参加のこと）100人、eラーニング50人
○費用　宿泊1万2000円、通い5000円、eラーニング3000円
○申し込み・問い合わせ先　首都圏西部大学単位互換協定会事務局（桜美林大学内、☎797・9914、ホームページhttp://www.shutokenseibu.ac.jp/）

圓企画調整課☎724・2103

町田市分譲マンション管理セミナー（講演会）

マンションの防災について（シリーズ・1）

【阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて、マンションの防災を考える】

○対象　分譲マンション管理組合員、マンション管理の関係者等
○日時　9月4日（日）午後1時30分～4時
○会場　健康福祉会館
○定員　150人（申し込み順）
○申し込み　電話で住宅課（☎724・1130）へ。

町田市文化・国際交流財団　夏休み子どもたちのための国際交流イベント

【①ワークショップ「平和な世界へ～非暴力を考える」】

怒りの感情を暴力で表現するのではなく、別の表現方法があることを学んでみませんか。

○対象　中学生
○日時　8月26日（金）午後1時～5時
○会場　町田市民ホール
○定員　20人（抽選）

【②インド人インストラクターによる親子料理教室】

本格的なカレーを作ってみましょう。

○対象　小・中学生（小学生は保護者同伴）
○日時　8月27日（土）午後2時から
○会場　町田市民フォーラム
○費用　1人500円
○定員　36人（抽選）

【③映画「ドバルダーン！エレファント」鑑賞会】

さまざまな国の大人や子どもが象によって結ばれ、平和を願う心がつながっていく物語です。

○日時　8月25日（木）①午前10時30分から（10時開場）②午後2時から（1時30分開場）
○会場　町田市民フォーラム
○定員　188人（先着順）

◇

○申し込み　①②はハガキまたはFAXで催し名・住所・氏名・学年・電話番号を明記して8月15日まで（必着）に町田国際交流センター「ワークショップ係」または「親子料理教室」係（〒194－0013、原町田4－9－8、町田市民フォーラム内、☎722・4260、FAX722・5330）へ。③は直接会場へおいで下さい。

まちだ中央公民館

鶴川地域市民講座

【子どもへのかかわり－今、私たちおとなにできる事とは？－】

昨今、子どもを取り巻く事件が多発し、不安を募らせています。そこで、おとながCAP（子どもへの暴力防止）プログラムやコミュニケーションのとり方を学び、地域の子どもたちを守る第一歩を築きましょう。

○対象　市内在住で全回出席できる方
○期日　9月6日、13日、20日、27日、10月4日、いずれも火曜日
○時間　午前9時30分～11時30分
○会場　鶴川市民センター
○内容　CAPおとなワークショップ、模擬体験ほか
○講師　CAPハレノヒ・林義子氏
○定員　30人（抽選）
○保育　2歳から就学前の幼児10人まで有り（希望の方は、申し込みにお子さんの氏名・年齢を明記）
○申し込み　往復ハガキに住所・氏名・電話番号を明記し、8月23日まで（必着）にまちだ中央公民館「鶴川地域市民講座」係（〒194－0013、原町田6－8－1、☎728・0071）へ。

まちだ中央公民館

子ども将棋教室

○対象　市内在住の小学生で初めて将棋を覚えたい方（昨年、同じ講座を受講した方は申し込めません）。
○期日　9月10日、10月1日、15日、11月19日、12月17日、2006年1月7日、21日、2月4日、18日、3月4日（いずれも土曜日、全10回）
○時間　午後2時～4時
○会場　まちだ中央公民館
○講師　町田市シルバー人材センター会員
○定員　30人（抽選）
○申し込み　往復ハガキに、住所・氏名（ふりがな）・年齢・保護者の氏名・電話番号を明記し、9月2日午後5時まで（必着）にまちだ中央公民館「子ども将棋教室」係（〒194－0013、原町田6－8－1、☎728・0071）へ。

大地沢青少年センター　夏まつり

8月20日（土）　午前10時～午後3時

今年も多くの団体の協力を得て、子どもから大人まで楽しめるたくさんのイベントを企画しました。

特設ステージでは、恒例の大戸囃子に加え、地元の相原町に古くから伝わるお囃子、獅子舞が披露されるほか、本館前では相原町の喧嘩御輿が繰り出しおまつり気分を盛り上げます。

野外ステージでは、吹奏楽の競演、和太鼓演奏があります。

このほか、地元の牛乳から作ったアイスミルクの販売や大地沢ひのき風呂の特別無料開放、模擬店の出店、体力測定コーナー、丸太切りの体験、森に関する遊び、焼き板、フリーマーケットなど多彩な催し物を準備しています。

※当日は送迎バスを相原駅前～青少年センター入口の間を午前9時20分から運行します。

圓大地沢青少年センター☎782・3800

子どもセンターつるっこ　プログラムのおしらせ

【①こわ～いお話会】

暑い夏のひととき、オバケや怪談話で涼みましょう。

○日時　8月15日（月）午前11時～11時30分＝幼児～小学校低学年向け、午後2時30分～3時＝小学生向け
【②スタジオゆめで映画会】

幼児から小学校低学年向けの映画会です。「ミッキーマウスのバンドコンサート」「だるまちゃんとてんぐちゃん」の2本立てです。

○日時　8月18日（木）①午前11時～11時30分②午後2時～2時30分
【③カンタン工作タイム①】

紙で笛のおもちゃを作ってみよう！

○対象　幼児～18歳の方
○日時　8月20日（土）午後1時～2時30分
【④カンタン工作タイム②】

ペットボトルでオリジナルビーズを作ってみよう！

○対象　幼児～18歳の方
○日時　8月20日（土）午後3時～4時
【⑤じっくりてづくり　ユニットおりがみ】

30枚のユニットでくす玉を作ろう！

○対象　3日間がんばることのできる小学生～18歳の方
○日時　8月26日（金）～28日（日）午後2時～4時
○定員　30人（申し込み順）
○持ち物　おりがみ30枚

◇

○申し込み　①～④は直接会場へおいで下さい。⑤は8月13日午前10時から直接または電話で子どもセンターつるっこ（☎708・0236）へ。

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用下さい。

まちだ科学の里

○対象　小学3年生以上の方
○日時　9月11日～12月18日の日曜日（月2回、全8回）午前10時～11時30分
○会場　旧緑ヶ丘小学校
○内容　仮説実験授業を通して、科学的・論理的な思考力を育てる
○講師　仮説実験授業研究会会員
○費用　1万2000円（テキスト、教材費など）
○申し込み　ハガキに住所・氏名・学年・電話番号を明記し、仮説実験授業研究会（〒194－0042、玉川学園7－19－2）へ。
実施要綱、参加申込書を送ります。

圓児童青少年課☎724・2182

チャレンジ教室

【ヒップホップレッスン】

スタジオで活躍中のインストラクターのレッスンを受けよう！

○対象　中学生～高校生
○日時　9月～11月の毎週月曜日午後6時15分～7時45分（全12回）
○会場　ひなた村
○定員　15人（申し込み順）
○費用　2000円（全回分）
○申し込み　8月12日午前10時から電話でひなた村（☎722・5736）へ。

下水処理場見学会

施設の案内と説明を行います。開始時間までに下水処理場において下さい。

○日時　8月21日（日）①午前10時から②午後2時から
○会場　鶴見川クリーンセンター（三輪緑山）
※駐車場あり。
○定員　各回30人程度
○交通　小田急線鶴川駅から鶴川緑山住宅循環行きバスで「けやき通り」下車徒歩1分、または鶴川女子短期大学行きバスで終点「鶴川女子短大」下車徒歩1分
○申し込み　8月19日までに電話で鶴見川クリーンセンター（☎044・988・7101）へ。

被爆・終戦60年　平和祈念イベント

【紙芝居「かよこ桜」と「シロとたけし」（アニメ）のビデオ上映と作者による講演会】

○対象　市内在住の方
○日時　8月20日（土）午前10時～午後0時30分
○会場　まちだ中央公民館ホール
○講師　山本典人氏（市内在住、著書「かよこ桜」「シロとたけし」ほか）
○紙芝居　菊池よし江氏
○定員　154人（抽選）
○申し込み　直接または電話でまちだ中央公民館（☎728・0071）へ。

くらしの情報

「町田のマチコ」です

私たちにできること　～地球温暖化防止対策～

地球温暖化対策の国民運動「チーム・マイナス6％」（注）を国で進めています。

防止対策は、新エネルギーの供給面と、産業や家庭などでのエネルギーの両面で進めることが大切です。温室効果ガスには二酸化炭素、フロン、メタンなどがありますが、二酸化炭素が大部分を占めています。

家庭レベルで生活を見直して、無駄を省くことが二酸化炭素を減らすことになります。その結果、温暖化防止と家計費の節約につながるのです。

①チェックポイントと私たちにできること

㋐エアコンの冷房温度を1℃高く、暖房温度は1℃低く設定し、服装の素材やデザイン選びを工夫して快適に過ごしましょう。
㋑電化製品の取り扱いの工夫を
・冷蔵庫は食品などを詰め込み過ぎないように、ドアの開閉回数を少なく、素早くするように。
・待機電力は必要のない時は切り、TVを時計代わりにしない。
㋒買い物にはマイバックを持って行き、レジ袋は貰わないようにして、ゴミ出しは選別区分で行い、燃やせるゴミを減らす。
㋓自動車のアイドリングをしないように運転をする。

②先人の「生活の知恵」の活用

㋐よしず、すだれ、カーテンなどを効果的に用いる。
㋑鍋を火にかけるとき鍋の底の水気をふく、お湯を沸かすときは蓋をする。
㋒雨水、お風呂の残り湯を使い、ベランダや庭、通りに、打ち水を。さわやかな自然の涼しさを味わってみましょう。

いくつかの工夫を紹介しました。

1家庭でできることはわずかですが、一人ひとりが力を合わせれば大きなエネルギーとなり、二酸化炭素を減少させることができるのです。地球を大切にしましょう。

（注）「チーム・マイナス6％」とは、京都議定書が世界に約束した日本の温室効果ガス排出量6％の削減目標です。これを実現するための国民的プロジェクトのことです。

消費生活センターから

圓消費生活センター☎725・8805